

## 令和5年度 儀礼文化学会催しものご案内

## 儀礼文化講座

「儀礼文化講座」は、儀礼文化を体系的に学習するために、生涯学習講座カリキュラムに基づいて開講します。本講座は本科学修教科の各単元課目を学びます。

- 時間 専門講座 14:00～16:00(120分)
- 会場 儀礼文化学会研修室(東京都新宿区)  
※第3回は明治記念館、第5回は國學院大學院友会館にて開催します。  
受講される方にはご案内をお送りします。
- 受講料 会員の受講料は次の通りです。  
全8回/16,000円……初回開催講座時(5月14日)にご納金いただきます。  
単科/2,600円……ご希望の講座のみ受講される方は当日徴収させていただきます。  
※講座によって、教材費を別途徴収させていただく場合があります。

開催日	単元課目	講座名	内 容	講 師
①5月14日(日)	【こころの文化】 仏教	谷中天王寺の歴史と文化	谷中天王寺は鎌倉期に日蓮上人の弟子によって創建され、のち天台宗に改められた。毘沙門天、富くじ、改宗、五重塔、彰義隊の戦火など、その多彩な歴史と文化について検討します。	天王寺住職 末廣照純
②6月11日(日)	【美の文化】 華道	東池坊について	東池坊は明治40年に創流された流派です。現在では茶道と茶花とを含めて伝承と普及に努めています。この度は当流の歴史と花型の説明、そして作品をいくつか紹介させていただきます。	茶道宗徧流正伝庵家元 一般社団法人東池坊 家元後継 岩田宗玟
③7月9日(日) ※明治記念館で開催	【美の文化】 礼法	小笠原流弓馬術礼法について	小笠原流は礼法・弓術・弓馬術の総称です。具体的にどういふものかを映像により紹介し、後半では伝承の紐結び、織り方を実際に体験して頂きます。	弓馬術礼法 小笠原教場宗家 小笠原清忠
④9月10日(日)	【くらしの文化】 くらしの民俗	水と火をめぐる祈り・まつり	日々のくらしに欠かすことのできない水と火について、日本列島の民俗文化における祈り・まつりという観点から考察します。くらしの民俗のなかで水と火の位置づけを探ってみましょう。	多摩美術大学 非常勤講師 澤井真代
⑤10月8日(日) ※國學院大學 院友会館で開催	【こころの文化】 神道	やまごころ— 「朝日にほふ山桜花」—	本居宣長が61歳の時の自画像に記した歌「敷島のやまごころを人間はば朝日にほふ山桜花」を通して、彼のいう「やまごころ」について考えてみたいと思います。	國學院大學教授 西岡和彦
⑥11月19日(日)	【こころの文化】 書道	世尊寺家の入木道故実	三蹟の一人・藤原行成を祖とする世尊寺家は、代々朝廷の書き役を務めた能書の家として知られます。同家に伝わる入木道(書道)の故実を紐解きながら中世における能書の実像に迫りたい。	國學院大學准教授 橋本貴朗
⑦令和6年 2月11日(日)	【美の文化】 古典芸能	「桜」でつなぐ 古典芸能の世界	「桜」を題材にした古典芸能をジャンル横断的に取り上げ、多様な表現に触れます。また、楽器の原材料としての「桜」も紹介し、「桜」が繋ぐ古典芸能の世界を広げます。	東京文化財研究所 無形文化財研究室長 前原恵美
⑧令和6年 3月10日(日)	【通史】 儀礼文化史	日本の海外交流 と伝統文化の 形成	端午や盆行事等の年中行事、茶・花・香等の芸道文化は、古代以来の中国大陸との交流を通じて、日本独自の文化として形成されたものが少なくない。これら日本の伝統文化の形成の歴史について、東アジアのなかでの日本と外国との交流を辿りつつ考察します。	国立歴史民俗博物館 教授 松尾恒一

### 儀礼文化講座 受講についてのご案内

- 時間 14:00～16:00(120分)  
※開始15分前までに受け付けを済ませてください。
- 会場 儀礼文化学会研修室
- 受講料 単科受講 1回2,600円  
(当日徴収させていただきます)

※受講は随時受け付けています。事務局にお電話・FAX・メール等でお申し込みください。なお、講座開催前の案内送付は行っていませんので、お申込みいただいた方は開催日をお忘れなく、会場においでください。